

ニューコース学習システム 活用事例

掛川市立中央小学校 三輪直司校長 岡本慎也先生



掛川市立中央小学校では「ニューコース学習システム」と、調べ学習や協働学習に役立つデジタル学習百科事典「ニューワイド教材ライブラリ」の2つの学習ソフトをご利用いただいています。

導入のきっかけは約5年前、当時中学の校長だった三輪校長が展示会で「ニューコース学習システム」を見つけ、これなら**既存の学習ソフトではサポートしきれていない、特別支援や不登校の生徒への活用ができる!**との思いからでした。

特に、要点解説ムービーは**必要な途中式などを省かずに解説するなど、丁寧な作りになっている点**や、操作がわかりやすく、**先生が説明しなくても子ども達が自分で操作できる点**をご評価いただき、小学校でも活用いただいています。

今回は三輪校長と、研修主任の岡本先生にお話を伺いました。

.....
使用学年 : 全学年
使用科目 : 算数など
導入ソフト :
ニューコース学習システム
ニューワイド教材ライブラリ
.....

活用シーン

◆本校では家庭学習を「授業と授業をつなぐ学習」と位置づけ、**各科目の宿題に「ニューコース学習システム」を活用**しています。6月には「オンライン課題チャレンジ週間」と題し、先生方にニューコースと他社ソフトとを併用していただき、よりよい学習へつなげる、ICT教材の活用促進にも取り組みました。

子ども達からも好評なようで、タブレットを使った夏休みの宿題も、ニューコースを中心に計画を立てています。(三輪校長)

◆宿題は、ニューコースの3つのコンテンツ(要点解説ムービー・要点整理カード・要点チェックドリル)をセットにして配信しています。どの学年の先生・児童も問題なく使いこなせているようです。特に管理画面では、クラスごとに**最高点と最低点を把握**できるため、**児童の理解度にバラツキがある箇所をすぐに見つけることができ**、その後のサポートに役立てています。

また、例えば5年生で「小数のかけ算」に入る場合、前もって2年生の「かけ算」を配信するなど、**新しい単元の基礎となる前の学年の内容の学習**にも活用しています。(岡本先生)

◆今後コロナウイルスなどの影響で、家庭学習の期間が長くなるかもしれません。そうした時、いきなりタブレットや動画を活用するのは難しいため、今のうちからニューコースで**先生方にもタブレットに慣れてもらいたい**という思いがあります。

去年の休校期間はプリントの配布のみでしたので、オンライン上で生徒の進捗を確認できるのはよいですね。(三輪校長)

ドリル/発展			
最高点	最低点	平均点	児童生徒数
-	-	-	-
100点	33点	84点	31人
-	-	-	-
10点	10点	10点	1人
20点	20点	20点	1人
-	-	-	-
-	-	-	-
29点	0点	7点	6人
100点	0点	61点	32人

▲管理画面では単元ごとの最高点、平均点、最低点を確認できる

評価ポイント

◆子ども達に「ニューコース学習システム」を1週間使ってもらい、アンケートを実施したところ、前向きな意見が多かったです。

ご家庭で宿題に取り組む様子をご覧になっていた**保護者の方からも、映像とドリルの組み合わせは好評**のようでした（右）。

先生方からは、今までは国語や算数が宿題の中心になりがちだったが、ニューコースは理科や社会、英語も宿題として配信できるので、バリエーションが広がった、という声があがっています。

夏休みの宿題も、ニューコースでどこを配信しようかと計画を立てています。

（岡本先生）

◆繰り返しになりますが、ニューコースの一番のポイントは「**どの子にも優しい**」ということです。できる子はどんどんドリル問題に取り組むことができるし、できない子には動画や要点整理カードで丁寧に解説してくれます。

クラスみんながいる前で、君は前の学年まで戻って勉強しよう、なんて先生は言えません。児童も言われたら恥ずかしい。ですが、**その子の進捗にあわせて個別に宿題を配信できる**のも、優しいポイントの1つですね。

また、ニューワイドという百科事典ソフトがあるので、協働学習もカバーできているのが、学研の学習ソフトの強みだと思います。

ニューコースは宿題はもちろん、授業でも使えるのではないかと思いますし、動画などのコンテンツも多いニューワイドもある、そんな**学研のソフトの幅広さ**が気に入っています。（三輪校長）



◆紙の教材とデジタルの教材の、役割分担が大切だと思っています。書き取りはとても大切なので、紙の宿題がなくなることはないでしょう。

「**知識の定着**」という狙いをはっきりさせることで、タブレットの活用は進んでいくはずですし、ニューコースは知識の定着にはぴったりだと思います。

（岡本先生）

▲インタビューにご協力いただいた三輪直司校長（右）と岡本慎也先生（左）

インタビュー実施日：2021年7月8日

取材協力：株式会社高文

アンケート結果

児童の声

- 宿題ボタンがあって、そこからすぐに簡単に始められた
- 間違えたところだけやり直せるのがよかった
- 解説ムービーは授業みたいでわかりやすかった
- 自分のペースで学習ができる …など

アンケート結果

保護者の声

- いつもの宿題より取り組む意欲を感じた。楽しそうにやっていた
- 図形の理解など、動画学習が効果的な場合もあると思った
- 間違えた箇所を即座に認識できて、直すことに良さを感じた …など